

## 校長より(詳細版)

宮城県角田高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は長い歴史を持つ地域の伝統校として、これまで医学界、法曹界、公官庁、経済界など、さまざまな分野で活躍する多くの人材を送り出してきました。地域の皆様に支えられながら築いてきたこの歩みは、本校の大きな誇りです。

そして今年、本校にとって大きな喜びとなる出来事がありました。  
東北大学文学部に一般入試で合格者が誕生したことです。

地方の高校にいても、日々の努力を積み重ねれば難関大学への道は確実に開かれる。そのことを、本校の生徒が自らの力で証明してくれました。

近年、地域の中学生の中には、仙台圏の高校へ進学する人も少なくありません。しかし、時間と費用をかけて遠くへ通わなくても、角田高校で十分に難関大学を目指すことができます。角田高校でしっかりと勉強し、部活動に励み、二度とない有意義な高校生活を謳歌しましょう。  
本校は、「地元にいながら高い志を実現できる学校」でありたいと考えています。

そのために、角田高校はこれから大きく進化します。

まず一つ目は、「全方位型」の学校づくりです。

高校卒業後の進路は、「就職」「専門学校進学」「在仙私大進学」「難関大学進学」など多様です。本校では、そのどれもが実現できる学校を目指しています。

就職については、本校の長年の実績と信頼により、企業から高い評価をいただいております。専門高校と同等、あるいはそれ以上の評価を受けています。専門学校進学や在仙私立大学進学についても、日々の学習にしっかり取り組めば十分に合格できる力を身につけることができます。

さらに、難関大学を目指す生徒のために、今年度入学生から**特別進学クラス**を設置します。名称は「Real Effort Dimension」—通称 RED。  
「真に努力を要する局面」という意味を込めました。

このクラスでは、志望大学に**一般入試で合格できる学力**を身につけることを目標に、徹底して学習に取り組めます。また、仙台第二高等学校とオンラインで連携し、課外講習を受講することも可能になります。角田にいながら仙台の中心校と同じ講義を受け、志を同じくする仲間とつながりながら、三年後の大学受験へ向けて努力を重ねていきます。

二つ目は、\*\*「発信型英語教育」\*\*の本格実施です。

これからの社会では、英語は「読む・書く」だけでなく、「使えること」が重要になります。本校では英会話学習ソフト「GELP」を活用し、授業以外の時間にも英語を使う環境を整えます。

さらに「English Day」を設け、学校生活の中で英語を積極的に使う日を設定します。英語を日常的に使う環境をつくることで、自然にコミュニケーション能力を高めていきます。

三つ目は、台湾との国際交流の推進です。

現在、台湾の名門トップ校である台北市松山高校との姉妹校締結が目前となっています。締結式には本校の代表生徒を台湾へ派遣する予定です。

また、本校では修学旅行を発展させた\*\*「研修旅行」\*\*として台湾を訪問します。松山高校との交流を通してリーダーとしての在り方を学び、英語でのコミュニケーションを実践します。日頃の学習の成果を確かめるとともに、国際的な視野を広げる大きな機会となります。

さらに、大学進学を希望する生徒には、台湾の大学への留学も支援していきます。奨学金制度を活用することで、学費や生活費などを含めても年間約 30 万円程度で学ぶことが可能です。英語、中国語、そして IT スキルを身につけ、世界を舞台に活躍する道も開かれています。

もちろん、これらのすべての取り組みは、本校の校是である  
\*\*「質実剛健」「自他敬愛」\*\*という人間教育の理念の上に成り立っています。

知性と教養を身につけ、他者を尊重しながら社会に貢献できる人材を育てること。それが角田高校の使命です。

### 「角田から世界へ」

この言葉を胸に、本校はこれからも地域とともに歩みながら、生徒一人ひとりの可能性を大きく伸ばしていきます。

中学生の皆さん、そして保護者の皆様。ぜひ角田高校で、自分の未来への第一歩を踏み出してください。

宮城県角田高等学校

校長 菊地 潤